

中体連 男子バレーボール 女子卓球 完全燃焼

六月一日(火)、二日(水)、そして六月八日(火)の前後期ふたつの日程で、中体連総合大会が行われました。昨年は、コロナ禍で中止となったため、二年ぶりとなったこの大会ですが、十分な感染防止対策のもと、無事実施することができました。無観客の上、密を避けるために会場数を増やすなどの対策により、各校の校長が自身の学校の出場してない会場に割当てられることも起きてしまい、私も女子バレーボールの会場に居ながら、男子バレー、そして女子卓球の結果を気にしているという、なんとも悩ましい応援状況でした。



全会津三位入賞を果たした男子バレーボール部、女子の三つ全てのシングルス部門で優勝を独占した女子卓球部など、三島中の存在を両沼、そして全会津に示す、すばらしい活躍でした。常設部における三年生の部活動は、この大会を区切りとして終了符を打つことになりましたが、今年、先に延期が発表されていた全会津陸上大会、夏休み後に予定されている全会津駅伝大会と、まだまだ三年生の活躍の機会があります。

一、二年生とともに、全校体制で、一つ一つの大会に集中し、たくさん足跡を残して欲しいと思います。ここからは完全燃焼あるのみです。がんばれ！三島中生。

静と動 先輩を見習って



[教育目標]
心豊かな生徒
自ら学ぶ生徒
たくましい生徒

桐の里だより

令和3年6月号
三島町立三島中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://nishima.fcs.ed.jp/> 三島中学校



五月二十八日(金)三校時めは、全校生で書写に取り組みました。本校では、これまでも新入生オリエンテーションや生徒会総会、交通安全教室など、全校生二十一名が一堂に会しての活動を行ってきました。その度ごとに一、二年生は三年生の姿を、あんな風に会を進行できるようになりたいとか、自分の意見をはっきりと述べたいと、お手本のように見てきたと思います。部活動でも、リーダーシップを発揮し、先輩の姿ながら活躍する。憧れの姿は、憧れの姿です。そのような活動的な姿とは違い、この日の三年生は、気持ちを静め、思いを筆先に集中し、真剣に書に取り組み姿を見せています。二年生、一年生も

声を発することなく、ただただ半紙の上を滑る筆の音だけが聞こえる、そんな時間が流れました。「百聞は一見に如かず」とはよく言ったものです。落ち着いて、集中して、と繰り返しの書写の姿を見れば、自分がどうしなければならぬのか、自分がどうかがすぐに理解できます。このように、身近なところで、上級生が下級生に範を示す機会が多いのも、三島中の特色です。そして、今の三島中の伝統を守り続けている秘訣の一つと言えるのではないのでしょうか。今年の生徒会のスローガンは、「Switch With Us」(スイッチで切り替える)です。学校生活や家庭生活の様々な場面で「けじめ」をつけ「メリハリ」をつけることを、自分たちの成長に向けて取り組もうとするものです。



全校生で書写の授業

課題意識をもった上級生が下級生に示した姿は、その意欲の表れとも感じます。このスローガンのもと、子どもたちが、どのような成長を見せてくれるのか、とても楽しみです。

今月の1枚



寄り添うチューリップ
全会津陸上大会に向けて練習する子どもたちに、寄り添うかのように並びいているチューリップ



森林教室

五月二十六日(水)に一年生の森林教室を行いました。講師の桐専門員の方から、桐の木の育て方や手入れの仕方、管理の仕方や詳しく教えていただき、実際に芽かきや下草刈りなどを体験しました。小学生の頃から桐の木について学んでいる子どもたち、将来、桐の里三島町の伝統を受け継ぎ、その良さを世界に発信する日がやってくることを楽しみにしたいものです。